

ConsoleDA Manager インストールガイド

マニュアルはよく読み、大切に保管してください。 製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。 このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

-目次-

1
1
7
11
12

重要なお知らせ(注意事項)

- 本書をよくお読みになってから、製品をご使用ください。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容の一部、または全てを無断で転載することを禁止します。

Copyright $\ensuremath{\mathbb{C}}$ Hitachi, Ltd. 2013 all rights reserved.

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国に おける登録商標または商標です。
- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他、会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. ConsoleDA Manager インストールの前に

1-1 注意事項

- 本セットアッププログラムは管理用サーバにインストールしてください。
- セットアッププログラムでインストールされるプログラムは下記以外での動作を保証しておりません。
 - Windows Server® 2003 SP2
 - Windows Server® 2003 R2 SP2 32bit
 - Windows Server® 2008 SP2 32bit, 64bit
 - Windows Server® 2008 R2 SP1
 - Windows Server® 2012
- ConsoleDA Manager と Microsoft® SQL Server®は同じ PC・サーバにインストールしてください。
- ConsoleDA Manager をインストールする前に Microsoft® SQL Server®をインストールしてください。
 また、あわせて Microsoft® SQL Server® Management Studio のインストールも行ってください。
- ConsoleDA Manager のインストールを実行するには、インストールする PC・サーバの管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。

1-2 Microsoft® SQL Server®のインストールと設定

以下の説明文中の画面は Microsoft® SQL Server® 2005 SP3 Express Edition のものですが、他のバージョンや Edition を使用する場合も同様に設定してください。

ConsoleDA Manager は SQL Server 認証を使用しデータベースへアクセスを行います。

Microsoft® SQL Server®のインストール時に指定する認証モードは「混合モード(<u>M</u>) (Windows 認証と SQL Server 認証)」を選択してください。また、sa ログオンパスワードには任意の文字列を設定してください。

侵 Microsoft SQL Server 2005 Express Edition セットアップ	×
認証モード 認証モードでは、SQL Server との接続時に使用するセキュリティを指 定します。	
このインストールで使用する認証モードを選択します。	
○ Windows 認証モード(<u>W</u>)	
◎ 混合モード(M) (Windows 認証と SQL Server 認証)	
以下の sa ログオン パスワードを指定してください:	
パスワードの入力(E):	

パスワードの確認入力(<u>P</u>): **********	
ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > キャン	ยม

SQL Server構成マネージャでプロトコルのTCP/IPを「有効」に、「すべて受信待ち」を「はい」にそれぞれ設定してください。また他のプロトコルは ConsoleDA Manager では使用しませんので、特に必要がない場合は無効に設定してください。

ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H) (中) (E) (E) (E) (日) (E) (E) (E) (日) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	SQL Server Configuration Manager			_ 🗆 🗵
マーマート 国 図 図 図 Sol Server 構成マネージャ (ローカル) □ Sol Server 2005 カットワークの構成 □ 是 Sol Server 2005 カットワークの構成 □ 是 Sol Native Client の構成 □ プロトワークの構成 □ プロトワークの構成	ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	i		
		2		
~いけば(圧)	SoL Server 構成マネージャ (ローカル) SoL Server 視成マネージャ (ローカル) SoL Server 2005 かサービス SoL Server 2005 ネットワークの構成 SoL Server 2005 ネットワークの構成 SoL Server 2005 ネットワークの構成 SoL Native Client の構成	プロトコル名 常 共有メモリ 常 名前付きパイプ マレーマーク マレーマーク ボロックロー 一日のパワマイ化 ヘルプ(H)	<u>状態</u> 有効 無効 う 効	
▲ 】 ▲ 】 ▲ 】 ▲ 】 ▲ 】 】 ▲ 】 】 】 】 】 】 】 】	 ▲ ▲ > > 	ੇ ਤੇੜਰੋ.		

- General				
Keep Alive		30000		
すべて受信待ち	((th)		
増延なし		tter .		14
				_
有効				
有効 このサーバー インスタンスの TCP/II	9 プロトコルを有	自動または無効の	こします	
有効 このサーバー インスタンスの TOP/II	Pプロトコルを有	自効または無効し	こします	

SQL Server 構成マネージャを起動し、サービスの設定を行ってください。

SQL Server (インスタンス名) のプロパティ

[ログオン]-[ビルトインアカウント]を「ネットワークサービス」に設定

SQL Server Browser のプロパティ

[ログオン]-[ビルトインアカウント]を「ネットワークサービス」に設定

[サービス]-[開始モード]を「自動」に設定

サービスが開始していない場合は、サービスを開始



注意	・Windows® Firewallやセキュリティ製品が提供するFirewall機能を使用する場合は、設定を調整してください。
	 システムの運用に伴い、トランザクションログが蓄積されていきます。これを長期間放置しますと、サーバのスト
	レージを圧迫しシステムの動作に支障をきたすことがあります。定期的にログのバックアップや切り捨てなどを
	行う運用をお勧めします。

1-3 .NET Framework3.5 のインストール

インストールする PC・サーバの環境によっては、下記要件のインストール画面が表示される場合があります。これらの画面が表示された場合は、「インストール」をクリックして要件のインストールを行ってください。

ステータス	
∋磯中 寺機中	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 (x86) Language Pack - Japanese

<Windows Server® 2008 SP2 64bit または Windows Server® 2008 R2 SP1 の場合>

.NET Framework 3.5 を手動でインストールする必要があります。次の手順にしたがって.NET Framework 3.5 をインストールしてください。

- 1. サーバーマネージャーを起動してください。
- 2. 左メニューから[機能]を選択し、右にある[機能の追加]を選択してください。

…サーバー マネージャー		
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) /	ヘルプ(日)	
🗢 🔿 🚺 🖬		
 ■ サーバーマネージャー (CBSV-WSI 田 → 役割 ● 機能 ● ご診断 ● ご 構成 ■ 記憶域 	7 初始 このサーバーにインストールされている機能の状態を表示し、機能を追加すたは削除します。	
	◇ 機能の概要	👔 機能の概要ヘルプ
	後継: 0/41 個をインストール済み 10	→ 現金の見かり
	↓ 最終更新日:今日 13:40 更新間隔の設定	
		● A 段 ≫ · Q CAP5 - Kona -

 画面最上の[.NET Framework 3.5.1 の機能]の[+]を選択し、「.NET Framework3.5.1」のチェックボックスにチェックし、[次へ(N)>]を クリックしてください。

	機能の追加ウィザード		×
確認 通行状況 請示 このサーバーにインストールする機能を 1つ以上選択します。 機能(): UBF 通行状況 請示 ● NET Framework 3.5.1 の機能 ● ● ● Prof.2 ● ● Prof.2	機能の選択 機能の選択		
	概論 確認 進行状況 結果	Cのサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 構施[] ■ WEF Framework 35.1 の機能 ■ WEF Pronework 35.1 の機能 ■ WEF Prof.7/1: BT Locker F>7/可能骨化 Br enchCache Dr enchCache	189月 1875 は、NET Framework 35.1で は、NET Framework 20.4PIの報告に ケカリケージュントでは利用すれ、ビックリロ ケカリカージュントン 大利用単位の 本利用下きます。また、さままなどごう オノコセンをモデルビすることができま す。

4. 「インストール(I)」をクリックしてください。

機能の追加ウィザード		×
インストール オプシ	心の確認	
機能 這行状況 結果	 次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、「インストール」をクリックしてください。 次の1件の情報シャセージ インストールの予了後に、このサーバーの再起動が必要になる場合があります。 ● NET Framework 3.5.1 の螺旋 NET Framework 3.5.1 	-
	この情報を印刷、電子メールで送信、または保存	
	<前へ(D) 次へ(D)> インストール(D) キャンセル	

5. 「閉じる(O)」をクリックすればインストール完了です。

機能の追加	ウィザード		×
	インストールの結果		
概能 確認 進行状況 € € € €		 次の役割、役割サービス、または標準が正常にインストールされました 次の1件の警告メッセージ Windows 自動車所が有効になっていません。新しくインストールした役割はたは機能が自動的に更新され	•
		- インストール レポートの印刷、電子メール送信、または保存	
		<前へ(P) 次へ(N)> 開しる(Q) キャンセル	

< Windows Server® 2012 の場合>

手動で.NET Framework 3.5 をインストールする必要があります。インターネットに接続されている場合は、コントロールパネルの「プログラムの機能」-「Windows の機能の有効化または無効化」で.Net Framework 3.5 を有効化してください。

インターネットに接続されていない場合は、OS インストールメディアや ISO イメージを用意していただく必要があります。OS インストール メディアや ISO イメージをマウントして、コマンドプロンプトより下記コマンドを実行してください。(マウント先のドライブによって「E:¥」の部 分を変更してください。)

Dism.exe /online /enable-feature /featurename:NetFX3 /All /Source:E:¥sources¥sxs /LimitAccess

.NET Framework 3.5 をインストールせずにセットアップを実行しますと、下記のエラーが表示されます。



2 ConsoleDA Managerのインストール

・ConsoleDA Manager をインストールするには、次のように操作します。

 Hitachi bd Link Version3 /CB または Hitachi bd Link Version3 /SV のインストールメディアの「Installer」フォルダーにある ManagerSetup.exe を実行し、「次へ(N)>」をクリックしてください。

🙀 ConsoleDA Manager – Ins	stallShield Wizard
2	ConsoleDA Manager用のInstallShield ウィザードへようこそ
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ ConsoleDA Manager をインストールします。「次へ」をクリックし て、続行してください。
	警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護 されています。
	< 戻る(日) (次へ(N)>) キャンセル

2. 「使用許諾契約」では使用許諾契約書内容をご確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選び、「次へ(N)>」をクリックしてください。

使用許諾契約		1
次の使用許諾契約書を注意深くお読み	いださい。	
使用		
お客様へ		
「使用許諾契約書」を必ずお調 本ソフトウェアのインストール	売みください。 し、またけ使用をあって、本「使用許	±.
契約書」をご承諾いただき、使用 だきます.ご承諾頂けない場合は 用を許諾できません.	い、またほぼ用をもりて、本・は用計 用許諾契約が成立したものとさせてい 、本ソフトウェアのインストール、①	地 た き
契約書」をご承諾いただき、使用 だきます.ご承諾頂けない場合は 用を許諾できません。 	い、またほぼ(加20) 「く、本」(Uniff 用許諾契約が成立したものとさせてい 、 本 ソ フ ト ウェ アのインス トール、 (1 印刷	њ た 更 ●
契約書」をご承諾いただき、使用 だきます.ご承諾頂けない場合は 用を許諾できません. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レ、またほぼん かってい ホード(Amer 用許諾契約が成立したものとさせてい 、 本 ソ フ ト ウェ アのインス トール、 低 印刷 2)	れ た ま (P)

3. 「初期設定1」では、データベースサーバ名および ConsoleDA Manager が使用するポート番号を設定し、「次へ(N)>」をクリックして ください。

🙀 ConsoleDA Manager – InstallShie	eld Wizard		×
初期設定1 ConsoleDA Managerの初期設定を入力	してください。		2
データベース サーバ名:			
			•
🥅 新規データベースを作成する。			
「新規データベースを作成する」にチェックをし	た場合の注意事	項:	
「データベースサーバ名」で選択したデータ データベースは一旦削除された後に新規で 前にバックアップを行ってください。	ベース サーバに、馬 作成されます。 必	死にデータベースが存着 要な場合は、インスト	Eしている場合、 ールを続行する
ネットワーク設定			
ConsoleDA Managerの受信ポート1:		60000]
ConsoleDA Managerの受信ポート2:		60554	
ConsoleDA Update Serverの受信ポート:	:	60002	j
ConsoleDA Agentの受信ポート:		60001	
InstallShield			
	< 戻る(B)	·次へ(<u>N</u>) >	キャンセル

入力項目の説明

データベースサーバ名:	データベースサーバ名を指定します。
新規データベースを作成する。	Microsoft® SQL Server®に ConsoleDA 用のデータベース設定・初期化を行います。
	初回インストール時は必ずチェックをしてください。
ConsoleDA Manager の受信ポート1:	ConsoleDA Manager がコマンドを受信する TCP ポート番号。
	1~65535の範囲で指定します。
ConsoleDA Manager の受信ポート2:	ConsoleDA Manager がコマンドを受信する TCP ポート番号。
	1~65535の範囲で指定します。
ConsoleDA Update Server の	ConsoleDA Update Server(アップデート機能用のサービス)がコマンドを受信する TCP
交后小一下:	ポート番号。1~65535の範囲で指定します。
ConsoleDA Agent の受信ポート:	ConsoleDA Agent にコマンドを送信するときに宛先とする TCP ポート番号。
	1~65535 の範囲で指定します。

注意	・ データベースサーバ名は右側の[▼]をクリックして表示される候補から選択してください。
	ただし、64bit版のSQL Server®をご使用の場合は候補が表示されませんので、手動にて入力してください。
	(Express EditionのMicrosoft® SQL Server®を既定のインスタンス名でインストールした場合は
	「(local)¥SQLEXPRESS」となります。Standard Edition以上で既定のインスタンスでインストールした場合(イン
	スタンス名無し)は、「(local)¥」となります。)
	・ 初回インストール時は、必ず「新規データベースを作成する。」をチェックしてください。
	 ・再インストール時など既にデータベースが作成済みの場合に「新規データベースを作成する。」をチェックし
	ますと、データベースが初期化されデータが全て消去されてしまいます。
	・別のPC・サーバ上で稼働するプログラムからConsoleDA ManagerとConsoleDA Update Serverの「受信するポ
	ート番号」(TCPポート)に接続できるよう、Windows® Firewallやセキュリティ製品が提供するFirewall機能の設
	定を調整してください。
補足	・ 既定値のTCPポートが他の製品によって使用されている場合は、他のポートを設定してください。

4. 「初期設定2」では、ConsoleDA Manager の正副冗長化構成情報を設定し、「次へ(N)>」をクリックしてください。

🔂 ConsoleDA Manager – InstallShiel	d Wizard	X
初期設定2 ConsoleDA Managerの冗長化を行う場合(は設定してください。	と
🔽 ConsoleDA Managerの冗長化を行う。		
このインストールでのConsoleDA Managerの役	割を選択してください。	
 正ConsoleDA Manager(マスター) 		
〇 副ConsosleDA Manager(パックア:	ップ)	
別マシンのConsoleDA Managerの情報を設定	目してください。	
ΙΡアドレス:		
ConsoleDA Managerの受信ポート1:	60000	
別マシンのデータベースサーバの情報を設定し	てください。	
IPアドレス:		
インスタンス名:		
🔲 データベースサーバのミラーリング機能を利	用する。	
InstallShield		
	< 戻る(目) 次へ(11) >	キャンセル

入力項目の説明

ConsoleDA Manager の冗長化を行う。	ConsoleDA Manager の冗長化を行います。
このインストールでの	このインストールでの ConsoleDA Manager の役割を選択します。ここで正を選択した場
ConsoleDA Manager の役割	合は別マシンが副に、副を選択した場合は別マシンが正となります。
別マシンの ConsoleDA Manager の IP アドレス:	別マシンの ConsoleDA Manager がコマンドの送受信に使用している IP アドレス。
別マシンの ConsoleDA Manager の 受信ポート:	別マシンに ConsoleDA Manager をインストールした時に設定した受信ポート1の値。 1~65535の範囲で指定します。
別マシンのデータベースサーバの IP アドレス:	別マシンの ConsoleDA Manager が使用しているデータベースサーバの IP アドレス。
別マシンのデータベースサーバの インスタンス名:	別マシンに Microsoft® SQL Server®をインストールした時に設定したインスタンス名。 (例:SQLEXPRESS)
データベースサーバのミラーリング	使用する Microsoft® SQL Server®にてデータベースのミラーリングを行う場合に
機能を利用する。	チェックします。

注意	・ ConsoleDA Managerの冗長化機能は、「Hitachi bd Link Version3 /CB」ではお使いいただけません。
	・ データベースのミラーリング機能は、Express EditionのMicrosoft® SQL Server®ではお使いいただけません。
補足	・ 「別マシンのConsoleDA ManagerのIPアドレス」と「別マシンのデータベースサーバのIPアドレス」は、通常同じ
	値になります。

- 5. 「インストール先のフォルダー」では、ConsoleDA Manager をインストールするフォルダーを指定し、「次へ(N)>」をクリックしてくださ
 - \wp_{\circ}

🙀 ConsoleDA Manager – In	nstallShield Wizard	×
インストール先のフォルダー		
このフォルダーにインストールする フォルダーにインストールする場	る場合は、「次へ」をクリックしてください。別の 合は、「変更」をクリックします。	
ConsoleDA Manac C:¥Program Files¥	qer のインストール先: #Hitachi¥ConsoleDA Manager¥	変更(<u>⊂</u>)
InstallShield		
	< 戻る(B) (次へ(N) >	キャンセル

6. 「プログラムをインストールする準備ができました。」で「インストール(I)」をクリックし、インストールを開始してください。



7.「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されたら、「完了(F)」をクリックしてセットアップを終了してください。
 Hitachi bd Link Version3 /CB と /CB-AP をご購入の場合は、続いて Advanced Pack のセットアップを行ってください。

🕼 ConsoleDA Manager – InstallShield Wizard 🔀 🔀				
Ter ConsoleDA Manager – Ins	tallShield やィザードを完了しました InstallShield ウィザードを完了しました InstallShield ウィザードは、ConsoleDA Manager を正常にイン ストールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してくださ い。			
	< 戻る(但) 売了(E) キャンセル			

注意	・ インストール中のデータベースの構築でエラーとなる場合は、SQL Server Management Studioを実行し、「セ
	キュリティ」-「ログイン」にある「NT AUTORITY¥SYSTEM」のプロパティを開き、サーバーロールの「sysadmin」
	にチェックが入っているか確認してください。入ってなければ、チェックをいれて「sysadmin」を有効にしてくだ
	さい。
補足	 ・設定入力を必要とするインストール画面では、あらかじめ既定値が表示されている項目があります。変更の必
	要がない場合、既定値のまま設定を行ってください。
	・ ConsoleDA Managerのインストール完了後、各種設定を変更する場合は「 <u>4.環境設定ファイル</u> 」を参照してく
	ださい。
	・ Advanced Packのセットアップについては、「Advanced Packセットアップガイド」を参照してください。

3 ConsoleDA Managerのアンインストール

・ConsoleDA Manager をアンインストールするには、次のように操作します。

1. [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]を開き、ConsoleDA Manager を選択して「削除」ボタンをクリックしてください。

追加と削除			
現在インストールされているプログラム:	□ 更新プログラムの表示(D)	並べ替え(S): 名前	
💼 ConsoleDA Manager		サイズ	0.63MB
サポート情報を参照するには、ここをクリッ	<u>ックしてください。</u>	使用頻度	低
コンピュータからこのプログラムを削除する(には、 頂川除] をクリックしてください。		削除
🛃 Intel(R) Graphics Media Accelerator	Driver		
Intel(R) PRO Network Connections 1	2.3.31.0	サイズ	7.89MB
🛃 Microsoft .NET Framework 2.0 Servic	ce Pack 2	サイズ	186.00MB
🛃 Microsoft .NET Framework 2.0 Servic	ce Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	6.23MB
🛃 Microsoft .NET Framework 3.0 Servic	ce Pack 2	サイズ	169.00MB
👸 Microsoft .NET Framework 3.0 Servic	ce Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	9.40MB
🛃 Microsoft .NET Framework 3.5 Langu	uage Pack SP1 - 日本語	サイズ	38.38MB
🛃 Microsoft .NET Framework 3.5 SP1		サイズ	37.99MB
📋 Microsoft SQL Server 2005		サイズ	310.00MB
📋 Microsoft SQL Server Management S	Studio Express	サイズ	109.00MB
📑 Microsoft SQL Server Native Client		サイズ	4.20MB
📑 Microsoft SQL Server VSS Writer		サイズ	0.68MB
📋 Microsoft SQL Server セットアップ サポ	ペート ファイル(英語)	サイズ	27.13MB
MSXML 6.0 Parser (KB933579)		サイズ	1.31MB

2. 確認ダイアログが表示されたら「はい(Y)」をクリックして、ConsoleDA Manager をアンインストールしてください。

プログラム	の追加と削除		×
2	コンピュータから Consc	ileDA Manager を削	除しますか?
		いいえ(N)	

アンインストール時に次のダイアログが表示された場合は、そのまま「OK」をクリックしてアンインストールを続行してください。

>

4 環境設定ファイル

環境設定ファイル名:	Manager.exe.config						
既定のファイルパス:	C:¥Program Files¥Hitachi¥ConsoleDA Manager	(32bit OS の場合)					
	C:¥Program Files (x86)¥Hitachi¥ConsoleDA Manager	(64bit OS の場合)					
<pre><?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?> <configuration> <configsections> · · · </configsections> <managerconfig agentport="60001" bladepollinginterval="30" logkeepdays="7" poolproviderport="60554" remotingport="60000" statuslampalert="Chassis" statuslampalertinterval="3" updateserverendpoint=" コンピューター名:60002" ①="" ②="" ③="" ④="" ⑤="" ⑥="" ⑦="" ⑧=""> <databaseconnections> <add connectionstring="connection-string" name="Principal"></add>⑨ <add connectionstring="connection-string" name="Backup"></add>⑨ <add connectionstring="connection-string" name="Backup"></add>⑨ <add name="Master" ⑩=""> <add name="Master" ⑩=""> <add name="Master" ⑪=""> <add name="Master" ⑪=""> <add connectionstring="connection-string" name="Backup"></add>⑨ <add connectionstring="connection-string" name="Backup"></add>⑨ <add connectionstring="connection-string" name="Backup"></add>⑨ <add name="string"></add>⑨ </add>⑨ </add>⑨ </add>⑨ </add>⑨ </databaseconnections></managerconfig></configuration></pre>							

#	項目設定	既定値(設定範囲)	説明	備考
1	logKeepDays	7(1以上)	トレースログファイルの保存期間。	単位:日
2	* bladePollingInterval	30(0,10~600)	ブレードの電源状態ポーリングの間隔。	単位:秒
			0の場合、ポーリング無し。	
3	remotingPort	60000(1~65535)	Manager のコマンド受信用ポート番号。	
4	poolProviderPort	60554(1~65535)	HCBPoolProvider が接続するポート番号。	
5	agentPort	60001(1~65535)	Agent に接続するときのポート番号。	
6	∗ statusLampAlert	Chassis(Chassis Blade)	STATUS ランプ点灯時のアラートメールの送信単位。	
\bigcirc	∗ statusLampAlertInterval	3(1~5)	statusLampAlert が Chassis の場合のメール送信間隔。	単位:分
8	updateServerEndpoint	コンピューター名:60002	ConsoleDA Update Server のコンピューター名と受信用	
		$(1 \sim 65535)$	ポート番号	
9	connectionString	DB 接続文字列	Manager が使用する DB への接続文字列。	2つまで登録可。
				記述順で優先度を決定。
10	role	Master(Master Backup)	Manager の役割を指定。	
1	address(manager タグ)	manager-ip-address:port	監視する対向 Manager のアドレス。	
12	∗ password	ipmi-password	BMC に設定されているパスワード。	暗号化対象。
13	* sender	mail-address	アラートメールの送信者アドレス。	
14	∗ smtpServer	ip-address	SMTP サーバの IP アドレス。	
(15)	* port	25(1~65535)	SMTP サーバのポート番号。	
(16)	* address(recipient タグ)	mail-address	アラートメールの受信者アドレス。	複数指定可。
17	* hardwareMonitor	3(1~36)	H/W モニターログの保存期間。	単位:月
(18)	* history	3(1~36)	稼動履歴の保存期間。	単位:月
(19)	* powerSaving	3(1~36)	省電力高価値の保存期間。	単位:月
20	* alert	3(1~36)	アラート情報の保存期間。	単位:月

*は、ConsoleDA UI 上の「設定…」ボタンで表示される設定画面で設定後に表示されます。

※項目設定の文字列の大文字と小文字は区別されます。